令和９年度　第１回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：023.人間形成論

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

次のA～Dの中から志望する分野の問題を１つ選び、日本語で解答しなさい。ただし、問題のなかに特別な指示がある場合は、指定された言語で解答すること。

A（精神病理学・精神分析学）

第１外国語として「日本語B」を選択した者は、次の英語の指示に従ってください。それ以外の者は、以下のⅠ～Ⅲの文章から２つを選び、それぞれ全体を和訳した上で、その背景や周辺の事柄について知るところを論述しなさい。

For those who have selected "日本語B (Japanese B)" as their "第１外国語 (first foreign language)" examination: Choose two texts from I to V and translate them into one of the following three languages (English, Japanese or French). Please comment on both texts within the limit of one page per text in English or French. (Note: Texts written in English cannot be chosen for translation into English. Texts written in French cannot be chosen for translation into French. Texts written in Japanese cannot be chosen for translation into Japanese.)

I

[redacted]

(Sigmund Freud. *The Ego and the Id. The Standard Edition of the Complete Psychological Works of Sigmund Freud*, Volume XIX, 1923)

令和９年度　第１回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：023.人間形成論

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

II

[redacted]

(Jacques Lacan. *Les Psychoses*, Seuil, 1981)

III

[redacted]

(Gerd Huber, *Psychiatrie: Lehrbuch für Studium und Weiterbildung*, Schattauer Verlag, 2005)

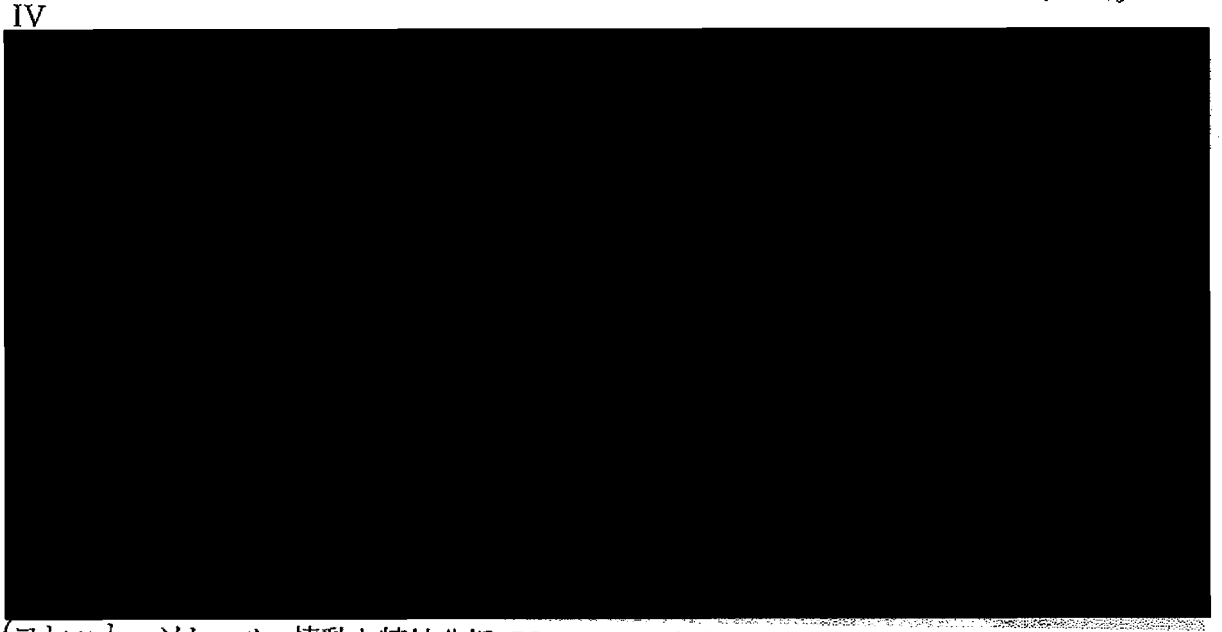
令和９年度　第１回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：023.人間形成論

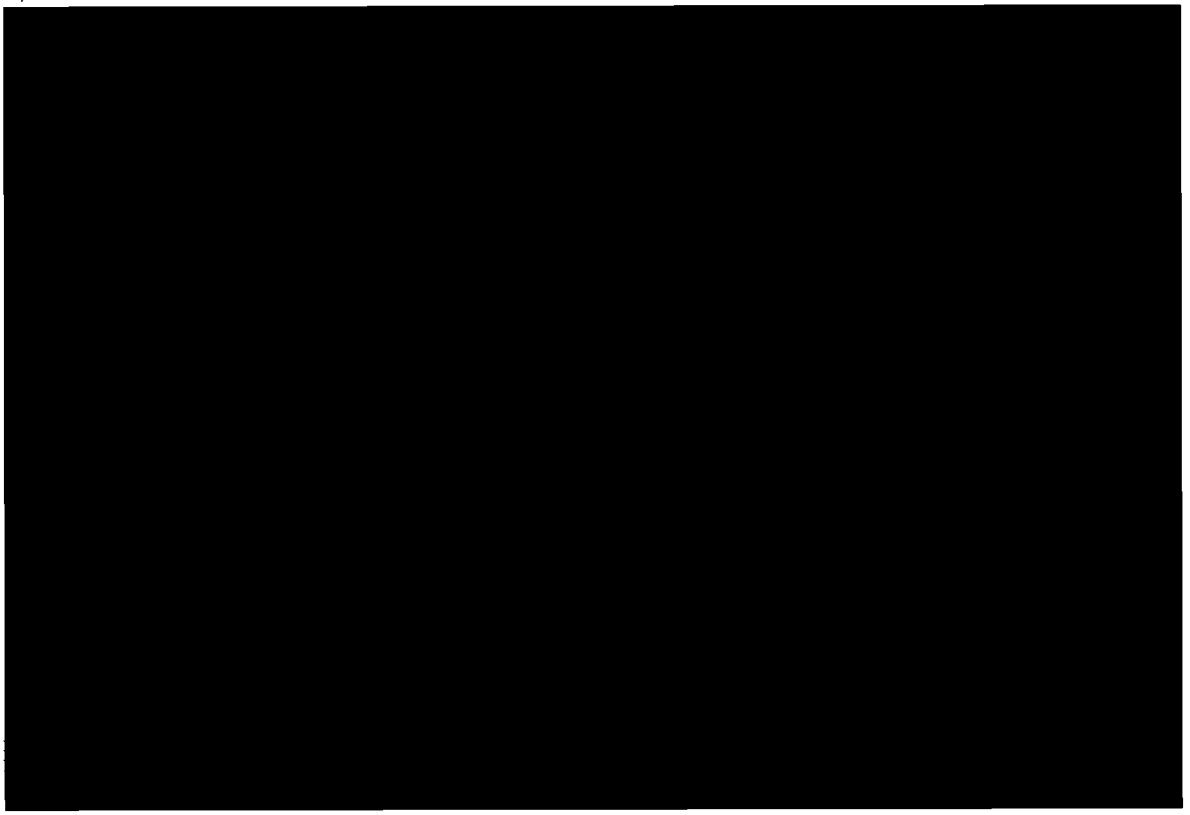
（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

IV



(コレット・ソレール, 情動と精神分析, PUF 2011 / 福村出版 2024)

V



American Psychiatry Association. DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル, 医学書員

令和９年度　第１回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：023.人間形成論

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

B（発達心理学）

以下のⅠ～Ⅳの問いに全て解答しなさい。

Ⅰ．次の①～④のうち２つを選び、その語句について詳しく解説しなさい。

①自閉スペクトラム症　　②良い対象と悪い対象（クライン）

③発達の最近接領域（ヴィゴツキー）　　④ウェイソン選択課題

Ⅱ．ピアジェの「感覚運動期におけるシェマ」の考え方と、ウェルナーの「行動物」の考え方の類似点および相違点について説明しなさい。

Ⅲ．ピアジェの想定する「身体」と、ワロンの想定する「身体」は、どのような点で異なっているかを論じなさい。また、「子ども - 養育者関係」を捉えていく上で、ワロンの「身体を通した姿勢 - 情動の伝播」という考え方でさえ不十分である理由を、具体例を挙げて説明しなさい。

Ⅳ．従来の発達心理学では、主として対象者の可視的言動（行動、発言など）のみをデータ化し、分析していくような客観主義的アプローチが採られてきた。しかし、人間の生の諸側面を捉えるために、ときにそれとは異なるアプローチが必要になってくることがあると思われる。そのようなアプローチが必要になってくる問題領域を一つ例として挙げながら、その問題に迫るためになぜ客観主義的アプローチでは不十分なのか、その問題に迫るために具体的にどのようなアプローチ（対象者への臨み方、現状記述の仕方、分析方法など）が必要になるのか、そのアプローチに対して客観主義の立場からどのような疑問が呈されることが予想されるか、それに対してどのように反論するべきかを論じなさい。

C（教育社会学）

以下のⅠ～Ⅲの問いに全て解答しなさい。

Ⅰ．以下の語群のなかから４つを選び、それらについて解答者が知るところを詳しく述べなさい。はじめに選んだ記号を書き、その後に続けて解答を書くこと。

a. いじめの四層構造　b. 高校三原則　c. 国民の教育権論　d. 教職調整額

e. 教育の平等と公正　f. 隠れたカリキュラム

Ⅱ．子どもをとりまく近年の環境の変化（自然のみならず、家族、社会、労働、メディアなど広義の環境の変化）が人間形成に与える影響、および教育がなすべき課題について、解答者が考えるところを述べなさい。

Ⅲ．主に学校において、属性によって子どもを空間的に分離して行う教育行為について、その歴史的形成や、それが引き起こす種々の社会的問題について具体的に述べなさい。

令和９年度　第１回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：023.人間形成論

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

D（教育史）

以下のⅠ～Ⅲの問いに全て解答しなさい。

Ⅰ．以下の①～④の中から２つを選び、それが何を意味しており、どのような歴史的意味を持っているのか、論じなさい。

①教育令（1879 年）とその改正（1880 年）
②帝国大学令（1886 年）
③1947 年の学習指導要領（試案）
④高等専門学校

Ⅱ．近代学校システムには、当該社会の構成員を「分断」する機能と「統合」する機能がある。それぞれどのような機能のことを意味するのか、近代日本の史実に即して説明しなさい。

Ⅲ．近代日本の学校教育は、どのようにジェンダー化されていたか。第二次世界大戦以前と以後に分けて、それぞれの時期における共通性と相違性も含めて論じなさい。